

「履歴書」の記載要領

1. 共通事項

提出書類は、ワード等の文書作成ソフト又は、黒インク・黒ボールペンを使用し、楷書体で鮮明に記入してください。

また、履歴書、業績目録は別添の様式に準じて A4 版として下さい。なお、各欄のスペースは適宜調整して下さい。

2. 履歴書

(1) 年齢は、この履歴書の記入日現在における満年齢を記入して下さい。

(2) 学歴の欄には高等学校卒業以降の学歴を記入して下さい。

学位の欄には学位名の次に当該学位を授与した大学名を（ ）内に記入して下さい。

例：昭和43年3 県立〇〇高等学校卒業

昭和43年4 〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学

昭和47年3 同上卒業

昭和47年4 〇〇大学大学院医学系研究科博士前期課程（〇〇学専攻）入学

昭和49年3 同上修了

(3) 資格の欄には、資格を記入して下さい。

例：昭和60年3 〇〇〇〇（第〇〇〇〇号）

(4) 職歴の欄には、職歴のすべてをについて記入し、職名もしくは身分を明記して下さい。

例：昭和49年4 文部科学教官〇〇大学〇〇学部、助手

昭和54年4 文部科学教官〇〇大学〇〇学部、講師

平成16年4 国立大学法人〇〇大学〇〇学部、助教授

平成19年4 国立大学法人〇〇大学〇〇学部、准教授

(5) その他特記事項の欄には、本人の専攻、研究分野に関連した事項、社会活動の事項及びその時期、非常勤講師歴、その他参考事項を記載して下さい。

例：昭和49年4～現在 〇〇学会会員

昭和50年4～現在 〇〇学会評議員

平成 2年4～4年3 〇〇大学〇〇学部、非常勤講師

平成 3年4～5年3 〇〇省〇〇委員会、委員

(6) 賞罰の欄には学会賞等を記載して下さい。ない場合は、「なし」として下さい。

例：平成 2年6 〇〇学会〇〇賞受賞

「研究業績」の記載要領

1. 論文発表

- (1) 共著の場合は、著者全員の氏名を記入し、本人の所にアンダーラインを引いて下さい。著書の分担執筆にあたっては、編集者名を記入して下さい。
- (2) 主要原著論文（5編程度）については、当該番号を○で囲んで下さい。
- (3) 学位論文は当該番号を◎で囲んで下さい。
- (4) 記載は以下の区分に分類し、年代別に、著者名、論文名、雑誌（ないし出版社、巻（ないし版）、頁～頁、年号を記入して下さい。
- (5) 業績が多い場合には、適宜ページを追加してください。

記載例

（できるだけ本例に従ってください。その他の報告書などは論文等の記載例を参考にしてください）

欧文著書

1. Yonago Y: Carcinoid of the stomach. In: Gastric cancer. Tottori T(ed) pp121-131, Springer-Verlag, Tokyo,1993

和文著書

1. 鳥取太郎, 米子康夫, 安田花子：○○の臨床病理 ○○の疾患, 竹山 登編. pp54-60, 第2版, 凸凹出版, 東京, 1992

欧文論文（総説・原著・短報・症例報告等）

1. Tottori H, Yonago Y, Nishi P, and Tanaka A: Massive necrosis in human transplanted organ. Clin Pathol 51:22-28, 1977

和文論文（総説・原著・短報・症例報告等）

1. 鳥取太郎, 米子康夫, 安田花子：○○に関する臨床病理学的研究○○会誌 44:21-26, 1988

2. 学会発表

- (1) 国内学会発表は特別講演、シンポジウム、ワークショップのみ記載して下さい。国際学会は一般演題も記載して下さい。
- (2) 共同演者の場合は、発表者全員の氏名を記入し、本人の所にアンダーラインを引いて下さい。

特別講演・シンポジウム・ワークショップ

1. 鳥取太郎, 米子康夫, 安田花子：○○の臨床病理 第○○回○○学会, 東京, 4月, 1992

国際学会

1. Yonago Y, Yasuda H, Fujii K, and Tottori T: Tubular adenoma in human stomach. An immunohistochemical and electron microscopic studies on 100 cases. 20th International Congress of Cancer Pathology, New York, August, 1989